

# 平成28年度(29年3月期) 決算の概要

平成29年5月12日



大光銀行

# 目 次

I. 平成28年度(29年3月期)決算の概要	
1. 損益状況	
(1) コア業務純益 .....	1
(2) 経常利益 .....	2
(3) 当期純利益 .....	3
2. 業務計数	
(1) 貸出金 .....	4
(2) 預金等・預り資産 .....	5
3. 不良債権 .....	6
4. 自己資本比率 .....	7
II. 平成29年度(30年3月期)業績予想 .....	8

※本資料の前年同期比・増減率欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

# I. 平成28年度(29年3月期)決算の概要

## 1. 損益状況

### (1) コア業務純益

○コア業務純益は、前年同期比2億11百万円増加し、38億13百万円。

資金利益は減少したが、経費の減少や役務取引等利益の増加、金融派生商品損益の改善などにより前年同期比で増益となった。

(単位：百万円)

項目	29年3月期 (A)	28年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
コア業務純益	3,813	3,602	211

#### 【コア業務純益の変動要因】

##### ○主な増益要因

(単位：百万円)

項目	29年3月期 (A)	28年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
経費	12,556	12,730	△ 174
うち人件費	7,055	7,213	△ 158
うち物件費	4,776	4,849	△ 73
役務取引等利益	567	455	112
金融派生商品損益	46	△ 449	495

##### ○主な減益要因

(単位：百万円)

項目	29年3月期 (A)	28年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
資金利益	15,754	16,287	△ 533

#### <参考> 資金利益の変動内訳

(単位：百万円)

項目	29年3月期 (A)	28年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
預貸差利益 ① ( ② - ③ )	11,982	12,644	△ 662
貸出金利息 ②	12,541	13,269	△ 728
預金等利息 (※) ③	558	625	△ 67
有価証券利息配当金 ④	3,802	3,696	106
その他 ⑤	△ 30	△ 53	23
資金利益 ① + ④ + ⑤	15,754	16,287	△ 533

(※) 預金等利息 = 預金利息 + 譲渡性預金利息

## (2) 経常利益

○経常利益は、前年同期比77百万円減少し、45億96百万円。

実質与信関係費用の減少などの増益要因があったが、退職給付費用(臨時処理分)の増加などによりその他臨時損益が減少し、前年同期比で減益となった。

(単位：百万円)			
項目	29年3月期 (A)	28年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
経常利益	4,596	4,673	△ 77

### 【経常利益の変動要因】

#### ○主な増益要因

(単位：百万円)

項目	29年3月期 (A)	28年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
コア業務純益	3,813	3,602	211
実質与信関係費用	△ 242	13	△ 255

#### <参考1> 実質与信関係費用の変動内訳

(単位：百万円)

項目	29年3月期 (A)	28年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質与信関係費用(①+②-③-④-⑤)	△ 242	13	△ 255
①一般貸倒引当金繰入額	-	-	-
②不良債権処理額	483	498	△ 15
うち個別貸倒引当金繰入額	-	-	-
うち貸出金償却	469	493	△ 24
③貸倒引当金戻入益	(△) 420	248	172
④偶発損失引当金戻入益	(△) -	24	△ 24
⑤償却債権取立益	(△) 306	212	94

#### ○主な減益要因

(単位：百万円)

項目	29年3月期 (A)	28年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
その他臨時損益	△ 277	235	△ 512
有価証券関係損益	818	849	△ 31

#### <参考2> 有価証券関係損益

(単位：百万円)

項目	29年3月期 (A)	28年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
有価証券関係損益(①+②)	818	849	△ 31
①国債等債券関係損益	675	757	△ 82
②株式等関係損益	142	91	51

### (3) 当期純利益

○当期純利益は、前年同期比1億76百万円増加し、31億42百万円。  
税金費用が減少したことなどにより、前年同期比で増益となった。

(単位：百万円)

項目	29年3月期 (A)	28年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
業務粗利益	17,045	17,090	△ 45
コア業務粗利益	16,370	16,332	38
経費	12,556	12,730	△ 174
実質業務純益	4,488	4,359	129
コア業務純益	3,813	3,602	211
経常利益	4,596	4,673	△ 77
(経常収益)	21,963	21,104	859
(経常費用)	17,367	16,431	936
特別損益	△ 37	△ 106	69
税引前当期純利益	4,558	4,567	△ 9
税金費用	1,415	1,600	△ 185
当期純利益	3,142	2,966	176

## 2. 業務計数

### (1) 貸出金

○貸出金残高は、前年同期比196億円(2.0%)増加し、9,901億円。

中小企業向け貸出を中心に事業者向け貸出が増加したほか、住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加した。

(単位：億円)

項目	29年3月末 (A)	28年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
貸出金残高	9,901	9,705	196	2.0 %
事業者向け貸出	5,830	5,699	131	2.2 %
個人向け貸出 (消費者ローン)	2,816	2,749	67	2.4 %
うち住宅ローン	2,623	2,562	61	2.3 %
地公体向け貸出	1,254	1,256	△ 2	△ 0.1 %

## (2) 預金等・預り資産

○預金等残高は、前年同期比136億円(1.0%)増加し、1兆3,205億円。

個人・法人預金ともに増加した。

○預り資産残高は、前年同期比横這いの1,239億円。

生命保険が増加した一方で、個人向け国債の償還などにより公共債が減少した。

(単位：億円)

項目	29年3月末 (A)	28年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預金等残高 (※)	13,205	13,069	136	1.0 %
うち個人	9,525	9,336	189	2.0 %
うち法人	2,992	2,975	17	0.5 %

(※) 預金等残高 = 預金残高 + 譲渡性預金残高

(単位：億円)

項目	29年3月末 (A)	28年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預り資産残高	1,239	1,239	△ 0	△ 0.0 %
投資信託	393	393	△ 0	△ 0.0 %
公共債	189	256	△ 67	△ 26.1 %
生命保険	655	588	67	11.3 %

### 3. 不良債権

○不良債権額(金融再生法)は、前年同期比15億円減少し、263億円。

経営改善支援に積極的に取り組み、危険債権が17億円減少した。

○不良債権比率は、前年同期比0.19ポイント低下し、2.65%。

(単位：億円)

項 目		29年3月末 (A)	28年3月末 (B)	前年同期比 (A) - (B)
金融再生法 開示 債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	53	51	2
	破綻先債権	7	6	1
	実質破綻先債権	46	44	2
	危険債権	198	215	△ 17
	要管理債権	12	11	1
	小計 (A)	263	278	△ 15
	正常債権	9,701	9,498	203
	債権額合計 (B)	9,965	9,776	189
不良債権比率 (A)/(B)	2.65 %	2.84 %	△ 0.19 <small>ポイント</small>	



## 4. 自己資本比率

○自己資本比率は、単体が前年同期比で0.92ポイント低下し、9.69%、連結が同0.93ポイント低下し、9.67%。

自己資本額(分子)は、劣後特約付借入金の期日前弁済のほか、株主還元策としての自己株式の取得などにより減少した。

リスク・アセット(分母)は、積極的な営業推進による貸出金の増加などにより増加した。

○単体・連結のいずれも規制値(4%)を大きく上回っており、十分な水準。

(単位：億円)

項 目		29年3月末 (A)	28年3月末 (B)	前年同期比 (A) - (B)
単 体	自己資本比率	9.69 %	10.61 %	△ 0.92 <small>ポ イ ン ト</small>
	自己資本額	690	717	△ 27
	リスク・アセット	7,121	6,752	369
連 結	自己資本比率	9.67 %	10.60 %	△ 0.93 <small>ポ イ ン ト</small>
	自己資本額	691	718	△ 27
	リスク・アセット	7,145	6,776	369

## II. 平成29年度(30年3月期)業績予想

(単位：百万円)

項 目	通期 (30年3月期)	
	連 結	う ち 単 体
経 常 利 益	3,610	3,550
当 期 純 利 益	2,400	2,380

※連結の当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益であります。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。